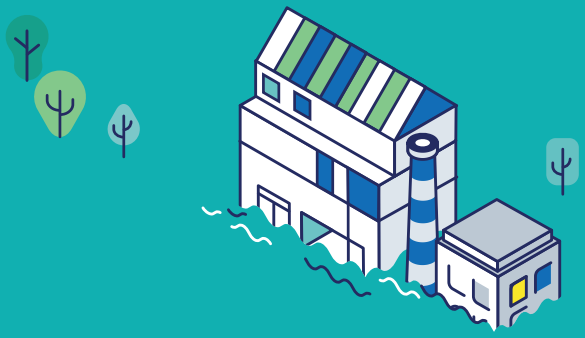


EPI SEINE

あなたは次の洪水への備えができていますか？

ビジネス向けアドバイス

すべてにおいて違いを生むシンプルな対策



次の洪水はいつ起こるのでしょうか？

誰にもわかりません。でも、わかっているのは、洪水発生前、発生中、または洪水後にできるいくつかのシンプルな対策が、あなたのビジネス、そしてあなたのチームへの影響を最小限に抑えるのに十分な場合があるということです。それこそが、EPISEINEの作成者であるEPTBS Seine Grands Lacsが発行したこの手引きの目的です。EPISEINEは、パリ地域の住民が洪水のリスクから身を守るための総合的な情報、啓発、推奨システムです。

さらに詳しく知りたいですか？

episeine.frの共同プラットフォームをご覧ください。実用的な情報、オンライン学習モジュール、トレーニングコースの登録など、さまざまな情報を入手できます。

洪水発生前

知っておきたいこと

洪水危険地域にいる場合、あなたの事業所やビジネスにおいて、電気、暖房、飲料水、または衛生設備が数日間、あるいは洪水が深刻な場合は数週間にわたって使用できない可能性があります。たとえ洪水地域ではなかったとしても、間接的に洪水の結果の影響を受ける可能性があります：

- 電気、暖房、飲料水、衛生設備なども使用できなくなるかも知れません。
- あなたの会社の従業員が職場に来られなくなる可能性があります。
- サプライヤーが洪水危険地域に位置しているかも知れません。

アドバイス

- 私の会社は洪水危険地域に含まれていますか？詳しく知るには、市役所に問い合わせるか、ウェブサイト https://cartoviz.iau-idf.fr/ を確認します。
- 私は担当の保険会社に連絡し、事業中断に対する補償があるかについて尋ねます。私は補償対象となる財産の金額を更新しただろうか？
- 私は、洪水発生時の組織計画（設備の安全確保、従業員への指示、事業の全部または一部の一時的な予備施設への移転など）を策定します。
- 私は、自分の周囲にいる専門家と相談をします。
- 洪水が発表されるとすぐに、私は、地元の議会や www.vigicrues.gouv.fr から、水位の上昇と、私のビジネスに及ぶ影響について情報収集をします。

私の周囲の人々を支援するにはどうすればよいですか？



私は、洪水によって個人的に影響を受ける可能性のある従業員を特定し、彼らの意識を高めることができるよう、episeine.frの ウェブサイトの存在を知らせます。

洪水発生時

知っておきたいこと

セーヌ川流域では氾濫水位までゆっくりと到達し、洪水が発表されてから影響が出るまでに数日かかることもあります。そのため、常に最新情報を入手し、水が到達する前に準備する時間を確保することが重要です。

アドバイス

- 洪水警報が発表された場合、私は公式メディア（県、市役所、消防署など）から情報を入手します。
- 私は、自分のビジネスに不可欠なものを保護します：私は、壊れやすい、高価な機器や汚染源となるものを高い場所に移動させます。私は、自社の車が必ず洪水危険区域外に駐車されるようにします。
- 私は、全従業員に対し、すでに冠水している道路を歩いたり運転したりすることを禁じています。濁流に流されたり、水面下に隠れた危険に陥る可能性が非常に高いからです。
- 私は、ガス、暖房および電気の供給を止めます。
- 私は洪水対策計画に定められた対策を講じ、自分の状況を可能な限り自立できるように準備します。当局はすべての人を支援できるとは限らないからです。

私の周囲の人々を支援するにはどうすればよいですか？



- 私は、洪水で直接的な被害を受けた従業員のために、支援ネットワークを構築します。
- 可能であれば、私は少しでも困っている人々や企業に対し、連帯の意志を示して支援を差し伸べます。

洪水後

知っておきたいこと

洪水は緩やかに引いていきます。洪水のピークから平常に戻るまでに数日間、あるいは数週間が経過することもあります。保険に加入していたとしても、このような事態は、あなたの会社やビジネスにとって大きな損害となる可能性があります。そのため、洪水に備えておくことの重要性についてよく考慮しておくことが必要です。

アドバイス

- 私は、状況の進展について常に最新情報を入手し、地元で出された指示に従います。水が引き始めたとはいえ、状況は依然として危険な状態にあります。
- 私は、自分の会社に戻るときは、特に注意を払います。私は、許可なく水や電気などを使わないようにします。疑問がある場合には、私は専門家の支援を求めます。
- 私は、廃棄/清掃/乾燥を行う前に、保険会社に申請するための写真報告書を作成します。
- 私は、洪水によって発生した廃棄物を取り扱う前に十分な注意を払います。有害または危険性があるかも知れないからです。
- 私は、直ちに保険会社に連絡します。在外公館や所属する団体も、このような状況に対処する際に支援してくれます。
- 保険会社に必要な手続きを済ませたら、私は浸水した敷地をできるだけ早く換気し、消毒し、乾燥させます。

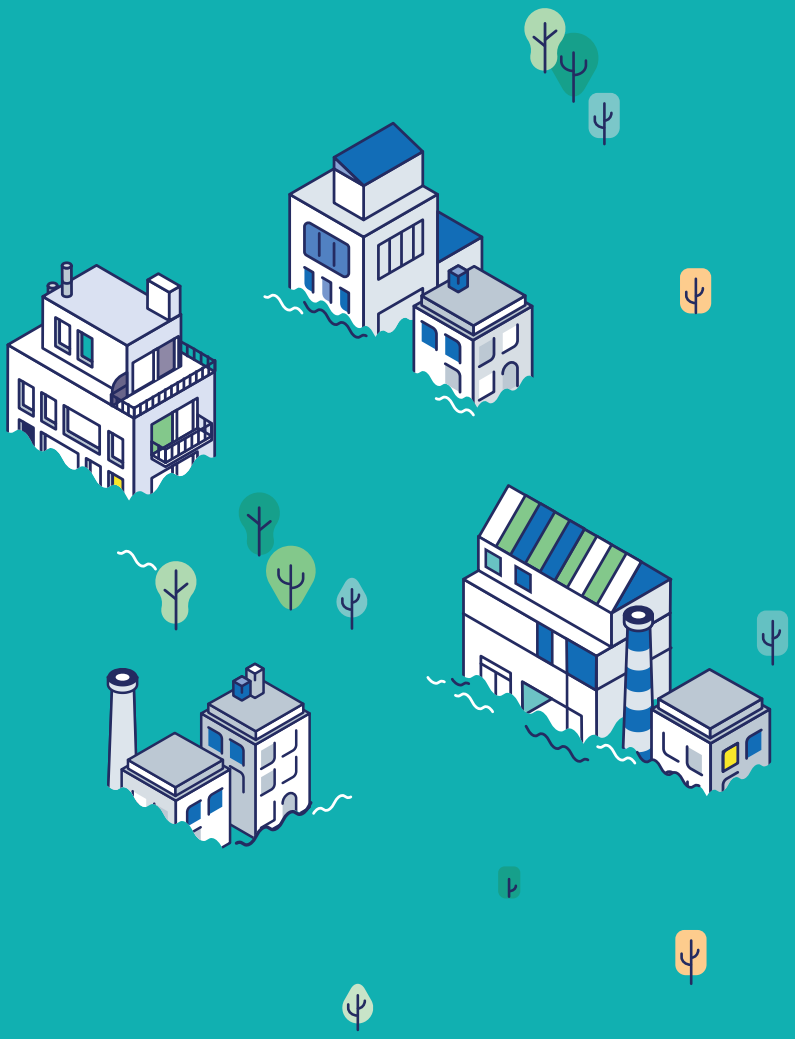
私の周囲の人々を支援するにはどうすればよいですか？



- 私は、洪水で直接的な被害を受けた従業員のために、支援ネットワークを構築します。
- 機会があれば、洪水に見舞われた地元企業に連帯の意思を示し、一時避難場所の提供やインターネット/通信サービスの提供など、支援を提供します。

次の洪水がいつ起こる
かはまだわかりません...

でも、今なら、洪水が
起きたときに何をすべき
かがわかりましたね！



洪水リスクについて
もっと知りたい方は
黄色いブイに従って
てください！

デザイン：Bastille agency - オープンライセンス： - イラストレーション：Matthias Orsi

EPI SEINE

EPISEINE.FR

協力：

SEINE GRANDS LACS

EPISEINEパートナー：

PRÉFECTURE DE POLICE
Liberté
Égalité
Fraternité

PRÉFET DE LA RÉGION D'ÎLE-DE-FRANCE
Liberté
Égalité
Fraternité

ileDeFrance
このプロジェクトは欧州地域開発基金の
共同出資を受けています

UNION EUROPÉENNE